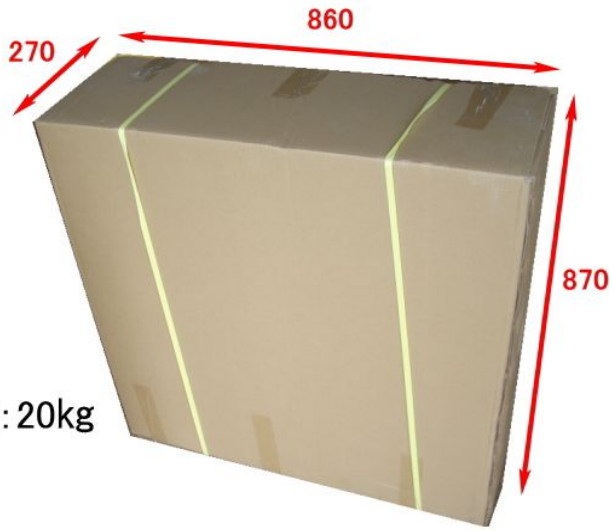
シャワーユニット説明書

梱包詳細

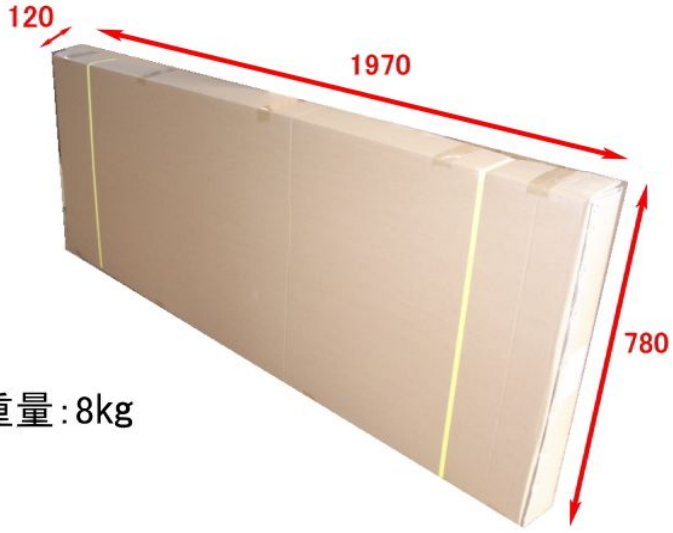
シャワーユニット梱包

①内容
・シャワー床パン×１
・天井パン×１
・シャワーセット×１
・ACアダプタ×１
・レバーセット×１
・ネジ類.b×１



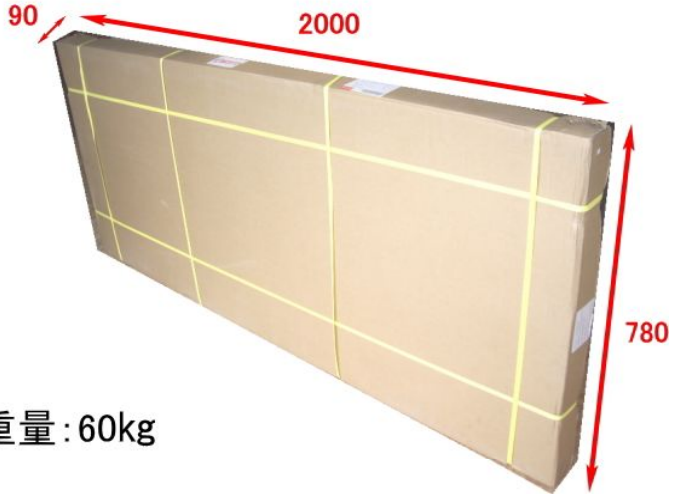
梱包重量：20kg

②内容
・シャワーパネル×１



梱包重量：8kg

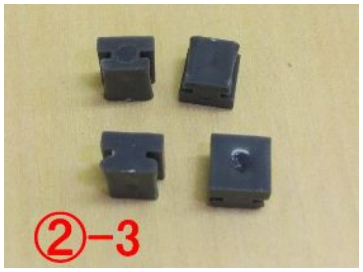
③内容
・側面ガラス×２
・正面ガラス扉×１
・扉ローラーセット×１
・正面扉レール×２
・扉取っ手×２
・扉水切りパッキン×１
・扉閉め磁石×１
・扉閉めパッキン×１
・ネジ類.a×１



梱包重量：60kg

部品詳細

①ネジ類a （ボルト・ワッシャー）
①−1・床パン固定用ボルト　25㎜×4.5㎜　５本（1本予備）
①−2・天板固定用ボルト　19㎜×4.5㎜　５本（１本予備）



②ネジ類b
②−1・フレーム固定用ビス　42㎜×2.5㎜　10本（2本予備）
②−2・内面パネルとフレーム固定用ビス　15㎜×4㎜　１４本（2本予備）
②−3・パッキン・マグネットストッパー　４個
②−4・化粧キャップ　１８個（２個予備）
②−5・扉ローラー取付用六角レンチ5㎜・4㎜、
フレーム・床パン・天板穴あけドリル3㎜・6.5㎜
（穴あけドリルは、電動ドライバーの接続チャックが必要です）

③給水レバー一式

④ACアダプター

⑤シャワーヘッド・シャワーホース（120㎜）

⑥シャワーレール

⑦扉ローラー

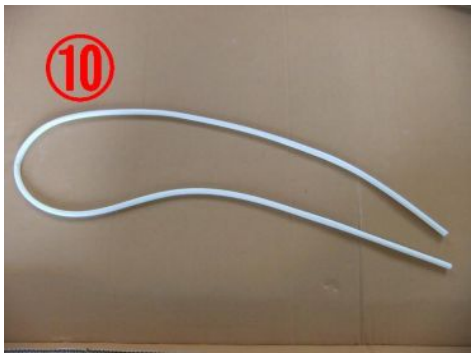
⑦-1・扉ローラー下

⑦-2・扉ローラー上

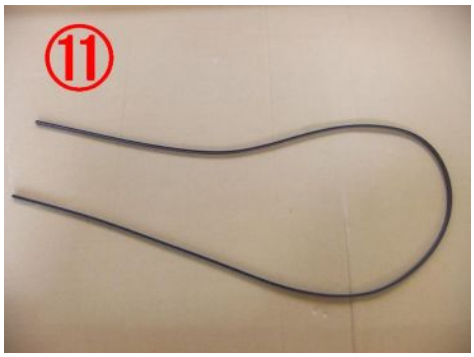
⑧シャワーレール接続ホース

⑧-1シャワーレール取付セット

⑨水切りパッキン（扉下部に取付）

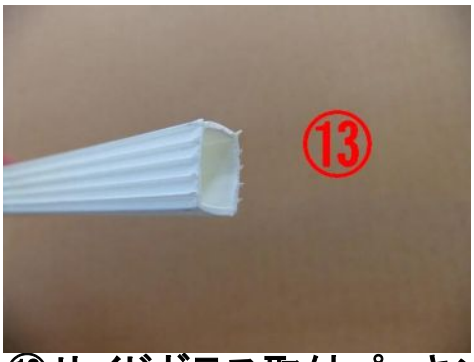


⑩フレーム部パッキン



⑪マグネットストッパー、
フレーム・扉に接続　計2本

⑫扉取っ手



⑬サイドガラス取付パッキン

⑭横フレーム680mm×55mm　2本

必要な道具

・水平器
・ドライバーまたは、電動ドライバー
・電動ドライバー
・スパナ
・シールテープ（各ホースの接続時に使います。
・コーキング（白またはクリア）
・カッター

⑮ホースバンド

大人2名でおよそ2～3時間程で組み立て可能です。
（コーキング作業を除く）

ナット等の締付が緩んでいることがあります。必ず施工前に確認願います

組み立て説明書

《床パンの固定》

1・床パンには保護用フィルムが
張っていますのではがします

2・床パンに高さ調節用ボルトが4箇所
ついていますので水平器を使い
スパナで高さ調整

《フレームの組み立て》

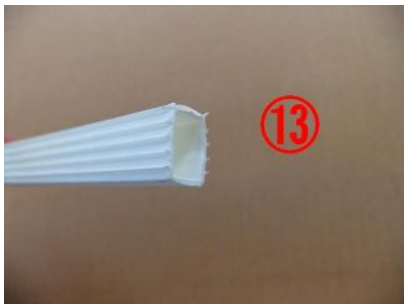
3・サイドガラスと⑭（横フレーム）
を②−1のビスで固定

※ガラス面がザラザラの方が外側
　ツルツルの方が内側

⑭は2本ありますが、
上下の違いはありません

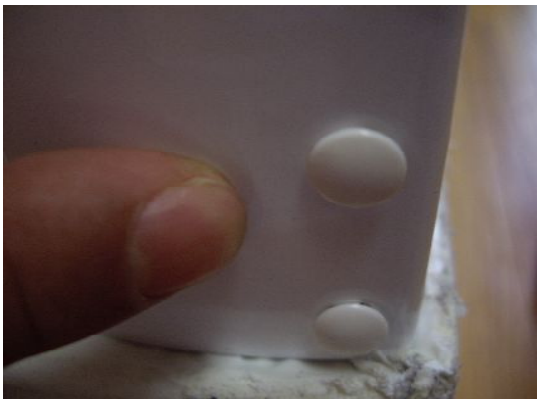
フレーム取付例

4・外フレーム組み立て後
⑬のパッキンを
サイドドアの各上下に
奥まで当たるまで
差込み、カットする



⇒

5・②−4の化粧キャップを取り付ける
上下各８箇所



6・組み立てたフレームを
床パンの上に移動

※床パンとフレームの間
に隙間が無いよう
しっかり固定

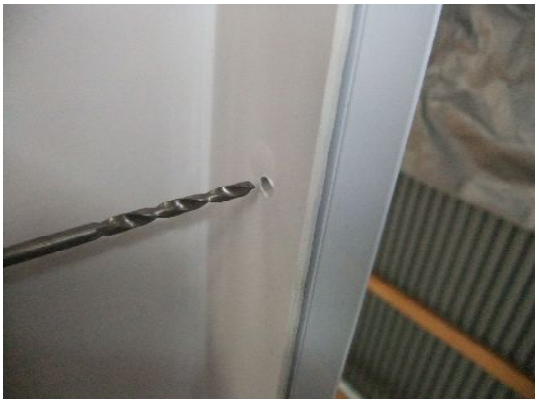
⇒

7・背面パネルの設置

《背面パネルの組み立て》

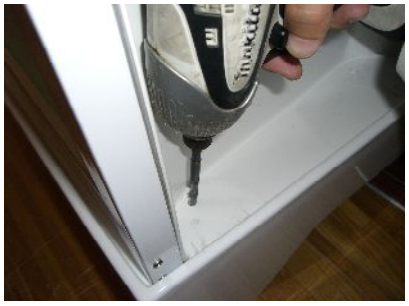
8・背面パネルとフレームの面を合わせ
②−5の2㎜のドリルで穴を開け
②−2のビスで固定
計12箇所

※背面パネルにあらかじめ
穴が開いています



《床パンの固定》

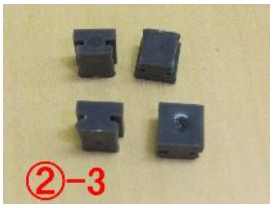
9・床パンを固定するため
②−5の6.5㎜で穴を開け
①−1のボルトで固定
計4箇所



《扉組み立て1》

10・扉の溝に⑪と②−3を取付

※⑪は長い場合は
カット願います



《扉組み立て2》

11・マグネットストッパー取付後
⑦(扉ローラー)の取付

※ローラーに付属している
ナットは必ず外してください。

扉下に⑦-1(上下に遊びがある)を
②-5の4㎜の六角レンチで

扉上に⑦-2を
②-5の5㎜の六角レンチで
それぞれ締める

“ワンポイントアドバイス”

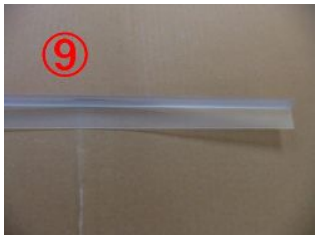
扉をフレームに設置する際
接続しにくい場合があります。
その際は、
下部分だけ固定し、
上部分をレールに引っ掛けてから
六角レンチで締めると
比較的簡単に作業できます

《取っ手の取付》

12・⑫は取っ手になります
※外側はサイドガラス面に
なります

《水切りパッキンの取付》

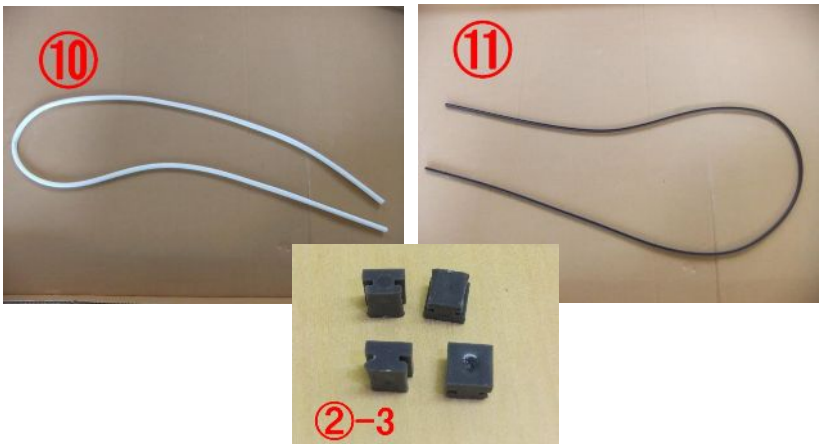
扉下部に⑨を取付
長くなっておりますので
カット願います



《フレームパッキン・マグネットパッキンの取付》

13・フレーム部に⑩.⑪を取付
⑪取付の際②−3を上下2つ設置

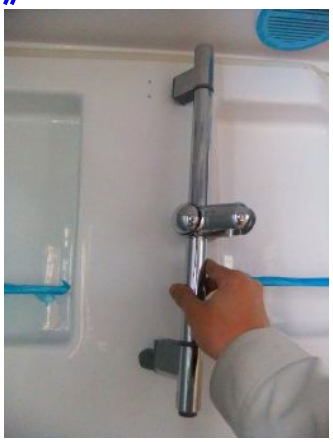
※扉のマグネットと
フレームに設置したマグネットが
合わさるように設置
磁石の力で扉が隙間無く
締まる構造です



※ガラス扉は左右どとらでも
開閉方向が選べます。
その場合、ローラーの上下を
変更することで可能になります

《シャワーレールの取付１》

14・⑥のシャワーレールを
背面パネルに取り付け、
裏側から⑧−1の
ビスとナットで固定



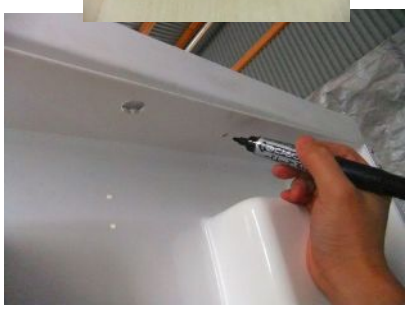
※ビスにはワッシャーを
ナットには黒パッキンを
それぞれ付ける

※上部はビス２本
下部はプラスチックパッキン
の接続写真例

《天板の取付》

15・フレームに天板を載せ
マーキングしてから
②−5の6.5㎜のドリルで
穴を開け、①−2のボルトで
固定

※天板手前部分は
天板位置を調整し
ドアレールに
当たらないように
２箇所程度
固定してください

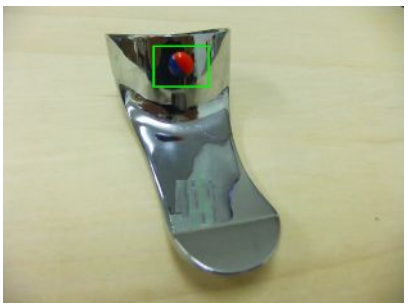


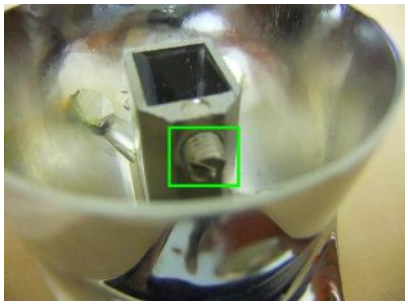
《給水レバーの取付》

16・背面パネルの裏から
③給水口を取り付け、
表側からカバーを取り付け
ビスで固定（上下２箇所）

⇒

※レバー取り付け
レバー部分の温・冷カバー
が外れます。
外した後、マイナスドライバー
でレバーを固定した後
再び温・冷カバーを
取り付けてください。





このレバーで給水・止水の温度調節とレバー上のツマミでボディシャワーとシャワーの切替が出来ます

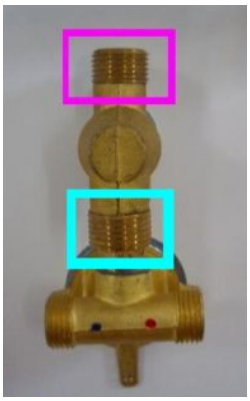
《シャワーレール給水ホースの接続》

17・⑧の何も付いてない方に
⑮と⑧−1の白いソケットを取付

↓ ↓ ↓ ↓

※接続後の写真

18・取付前にシールテープを巻き
17で組立てたホースを接続する
もう片方のステンナットの部分は
給水口の上部分に接続
（こちらもシールテープを巻く）



ボディシャワーから
伸びているホースを
給水口の中央部分に接続

“シャワーレールのスライド方法” ⇒

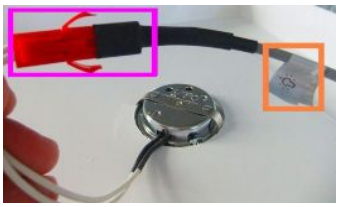
《配線接続方法》

19・平面パネル裏のスイッチに線が
3本出ています。
それぞれ線にマークシールが付いています。
コネクタの色で判別も出来ます。

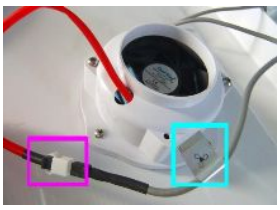
各コネクタを接続してください。

AC-12⇒Power（④とスイッチに接続）

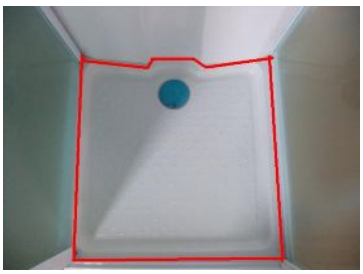
電球のマーク⇒ライト



扇風機のマーク⇒換気扇



《コーキング》

20・ジョイント部分（接合部分）及びガラス部分の
目地など内側に必ず
シリコンコーキング（防カビ材入り）を
打ってください

※赤線の部分がコーキング必要箇所
になります